

広報

ただみ

4
2013 月号
No. 515
平成25年4月10日



今月の表紙

春の目差しにつつまれた只見中学校で、卒業式を終えた3年生がかけがえのない思い出を胸に恩師と、友と、別れの握手を交わし学び舎を巣立っていった。【関連記事8ページ】

町芸術文化賞・スポーツ優秀選手賞・
町民文芸コンクール表彰・・・2～7

只見中学校卒業証書授与式 他・・・・・・・・・・・・・・8～9

平成25年度只見町予算・・・・・・・・・・・・・・10～11

町の話題・・・・・・・・・・・・・・12～13

豊かな感性・日々の努力

活躍選手や優秀作品を表彰

町芸術文化賞・スポーツ優秀選手賞 町民文芸コンクール 表彰式

平成24年度只見町教育委員会芸術文化賞・スポーツ優秀選手賞表彰式と、第36回只見町民文芸コンクール表彰式が、2月24日に季の郷湯ら里で行われました。



▲各賞を受賞された皆さん「おめでとうございます」

はじめに、青少年健全育成主張大会及び標語入賞者の表彰式が行われ、引き続き、芸術文化賞・スポーツ優秀選手賞の表彰式と、第36回只見町民文芸コンクールの表彰式が行われました。






式では芸術文化賞を受賞された朝日小学校1年の佐藤静香さん、そして各大会などで素晴らしい成績を収めた10名の皆さんと2団体にスポーツ優秀選手賞が贈られ、それぞれ表彰されました。

続いて町民文芸コンクール4部門（作文・詩・短歌・俳句）319点の応募作品の中から審査の結果選ばれた、優秀作品の入賞者が、表彰を受けました。

町民文芸コンクールの講評には、「文書を書くことはとても大事で感性も磨かれます。豊かな感性ですばらしい作品を作り上げてください。来年以降も参加してください」とありました。

町民文芸コンクールの各部門で特選に輝いた作品をご紹介します。

短歌部門

				
<p>一般の部 特選</p> <p>只見 新國 由紀子さん</p> <p>シー出た？と 聞けば時おき シー出たと 九十五歳の 父は幼し</p>	<p>高校生の部 特選</p> <p>只見高3年 吉津 翔大さん</p> <p>3日間 はなれただけでも なつかしく 不思議とおちつく 私の故郷</p>	<p>中学生の部 特選</p> <p>只見中2年 菊地 萌花さん</p> <p>秋雨は 私の心を 惑わせる 君と聞きたい ショパンの音色</p>	<p>小学校上学年の部 特選</p> <p>只見小6年 新國 愛菜さん</p> <p>秋の夜 辺り一面 白い霧 ぼんやりうかぶ 家々の光</p>	<p>小学校下学年の部 特選</p> <p>只見小1年 大竹 未桜さん</p> <p>らっこはね ねながらえさを たべるんだって そんなことしたら しかられるよきつと</p>



作文部門 小学校下学年の部

ぼくとかまきりくん

朝日小1年 さんべ そうたくん



じまんのかまをもちあげて、まえをぎろつとにらみつけ、わつき、わつきとあるきだす。ぼくは、さんかくのあたまと、きらりとしてかっこいいすがたの、かまきりくんがだいすきだ。かまきりくんとなかよくなりたいたい。

かまきりくん、ぼくのことをみえているかい。ぼくは、きみにあいに、ひるやすみになると、はたけやくさむらにいくんだよ。なのに、ぼくのことをみつけると、はねをひろげて、いかくしているんだよね。きつと、ぼくのほうがからだがおおきいから、つよそうにみえるんだらうね。でもね、ぼくは、いじめないよ。だつて、ぼくは、きみがだいすきなんだもの。きみが、ぼくのことをみて、どうおもっているのかな。かまきりくんには、みつからないようにして、こっそりとのぞいてみた

んだ。そしたらね、すごいところをみたんだ。とかげがきみにだいせつきん。おもわずぼくは、たすけてあげようとしたんだ。でも、そのときに、おおきなからだのかまきりがあらわれて、「こらあ、あつちへいけよ。」と、とかげにいつているように、かおをちかづけて、いかくしていたよ。にんげんのせかいも、かまきりのせかいも、なかつつてすごいんだね。ぼくは、ほつとした。それから、きみのみどりいろと、はつぽのいろがにているから、ぼくたちになんげんにつかまらないように、はつぽのかたちにあわせて、くつついていたよ。きみたちは、あたまがよいね。ほかにもあるよ。はつぽのうえを、ゆつくりとさんぽをしていて、きよろきよろとなにかをさがしているかまきりくんをはつけん。そのときにも、かまをうえにもちあげてあるいていたよ。やつぱり、かっこいいなあとみていたら、まえあしをはつぱからすべらせて、おちてしまったんだ。ぼくは、おもわず

と、こえをあげてしまったんだ。かまきりくんは、みずたまりにおちてしまった。どうしようとおせるぼくのめのまえで、なんとじょうずなおよぎをみせてくれたね。ぼくは、きづかれないうちに、はくしゅをしたよ。ぼくのこぎゅうも、かまきりくんには、たいふうみたいかなあとかんがえて、えんりよしたんだからね。でも、うれしくて、ぼくのかおは、えがおだったよ。ほんとうに、ほつとしたよ。かまきりくんは、むしのせかいのライオンみたいなかんじだね。きみのまえあしには、するどいとげのれつがあり、おりたむとものをつかまえることができるかまになつているのが、すごいぶき。目もおおきくて、くびは、じゅうにうごき、まわりをみわたすこともできるし、よるになると、目をくろくぴかぴかとさせて、まわりをよくみているしね。かっこよさとつよさをもつて、ほかのむしからじぶんをまもつていきっているきみを、ぼくは、これからもおうえんしていくからね。

「あつ、あぶない。」

俳句部門



庭木々を
囿う新藁
匂いたつ

一般の部特選
黒谷 目黒 富子さん



空見上げ
もう冬だよと
風の声

高校生の部特選
只見高2年 菅家 知佳さん



アジサイに
キラリ輝く
雨しずく

中学生の部特選
只見中1年 佐藤 有佳さん



冬の夜
外で星座を
ながめよう

小学校上学年の部特選
明和小5年 河原田 隼斗くん



すずめさん
わたしを見ても
にげないで

小学校下学年の部特選
只見小1年 五十嵐 陽菜さん



作文部門 小学校上学年の部

スランプはチャンス

只見小5年 鈴木 伶菜さん



「あー、もうつかれた。休みたいな。」

私はそう思った。剣道の地げい古をしている時だ。私は、只見剣道スポ少に所属している。地げい古は、一対一で打ち合うけい古で、自分の力を試すことができる。基本げい古をたくさんした後にするけい古だから、私は地げい古のころはいつもつかれている。動きがおそくなり、防具がいつそう重く感じられる。私は、五年生になって、剣道の調子が良くない。そしてときどき私は、剣道のセンスないのかな。と落ちこむ時もある。

私は、母にすすめられて、一年生から剣道を始めた。不思議とやめたいと思ったことはなく、意外と自分に合っていたから、五年生まで続けられたのだと思う。

三年生の時、私は一度自分の剣道について作文を書いたことがある。内容は、試合で勝てるようになるまでのむずかしさについてだった。その時以来、あまり深く考えずに剣道をしている。調子が出ない今こそ、自分

の剣道をふり返るよいチャンスだと思う。

四年生の時は、自分なりに調子が良かった。その中でも忘れられないのは、四年生の十一月に出場した南会津郡剣道大会（田島大会）で、私をふくむ女子三名のチームが団体戦低学年の部で、優勝した時だ。この時私の試合成績は、四試合戦って三勝一引き分けで、自分でも納得のいく結果を出すことができた。この時私達はもちろん、だれも私達のチームが優勝するとは思っていなかった。始めは実感がなかったが、だんだん自分達が優勝したんだと分かってきた時は、今まで味わったことのないうれしさと達成感を感じることができた。この大会で学んだことは、メンバート同士で、がんばろうと声をかけ合うことが大事だということ。そして、それまで自分はまだあまり強くないと決めつけていたが、自分で自分の力を決めつけないことが大事だと学んだ。

その他に、同じく四年生の夏に行われた全会津シモン旗杯（坂下大会）では、個人戦でベスト8になり自信につながった。この調子で五年生になっても体がよく動き、けい古が楽しいと思えたり、大会で良い結果が出せると思っていた。しかし実際には、けい古の調子もあがらないし、試合で良い結果も出ていない。私はこれが『スランプ』というものなのか、と思った。

先日陸上練習をしていた時、担任の先生が『スランプ』について教えてくれた。ちょうど私がハードルで転び、タイムも伸びず、落ちこんでいた時のことだ。

「どんなスポーツでも、練習をしているときに、うまくいかない、調子が出ない時というのは必ずある。そういう時があっても努力を続けることが大事だ。努力はうら切らない。」と。それを聞いて私は少しほっとした。こういうことはよくあることだと分かったからだ。

私は次のように考えることにした。剣道の調子が良くなっても落ちこまず努力を続けること。

時には、かたの力をぬいてこれまでの自分の剣道を見直すこと。そして、ただけい古をするのではなく、毎回目標をもってけい古すること。これからのことは、これから先もいろいろな場面であてはめられる考え方だと思った。

今までやってきた剣道は無駄にはなっていないし、実際に剣道を通して身につけたことがあつたと思うし、何か問題が起きた時、それに立ち向かう力がついたらと思う。

目標を持って剣道が続けていけば、いつか『スランプ』から抜け出せるだろう。その時が楽しみだ。そして、その時”私の剣道は向上しているはずだ。今、私はそのチャンスを手にしていると思いたい。またけい古にはげようと思う。やっぱり剣道が好きだから。





作文部門
中学生の部

絶対に忘れない

只見中1年 目黒 眞子さん



東日本大震災から一年数ヶ月が過ぎた。一年ほど前までは、テレビなどで被災地の状況が多く伝えられていたが、最近ではそのような報道はかなり少なくなってきたように感じる。しかし、被災地では今でも、私たちが知らないところでもまだ大変な生活を送っている人はたくさんいると思う。

あの日、海沿いの被災地に、十メートルを超える巨大な津波が襲った。そして、何人も尊い命が犠牲となった。また、命は助かったものの、停電や断水、さらには原子力発電所の事故などですら避難生活を送った人もたくさんいた。それらの情報は、震災直後のテレビ番組を通して知った。私はそのとき、同じ日本で、同じ福島県で、こんなにも過酷なことが起こっているなんて信じられなかった。なぜなら、私たちの住む只見町は、比較的被害が少なく、電気も水も普通に使えていたからだ。しかし、つらい生活を送られている被災地の方々の気持ちを知らずにいる出来事がこの只

見町でも起こった。七月二十九日の集中豪雨だ。あの日は停電で電気も使えず、水も全く出なかった。とても不便で大変だった。被災地の方々は三月のあの日以来、こんなにもつらい生活を送っていたのだと思うと、震災で何も被害がなく、とりあえず「よかった」と胸をなで下ろしていた自分がとても恥ずかしく思えた。被災地の方々は、自分たちがつらい思いをしているにもかかわらず、水害にあったこの只見町を助けてくれた。豪雨により、用水路や河川にたまった土砂やがれきの後片付けなどの、ボランティア活動。さらに支援物資など、たくさんの方に只見町に送って、孤立した場所に届けてくれた。なんて優しい人たちなのだろうと心から感謝した。

対にないと思う。原子力発電所の事故後、福島県内の人たちは目に見えない放射線の恐怖により、不安な日々を送っている。そんな中、他の地域に行ったら、福島ナンバーというだけで車に落書きをされたりなど、ひどいことをする人がいることをニュースで見た。とても悲しかった。しかし、そんなことをする人はほんの一部。逆に心配をしてくれる人もいる。インターネットの書き込みを見ていたら、福島県の人に対して、「自分の周りでは、放射能とか気にしている人もいるけれど、私はそんなの全く気にしていない。いろいろ大変だと思っけれど、くじけないでがんばってください。」などと励ましのメッセージをくれる人もいる。みんながみんな福島県に対して白い目をつけているわけではない。むしろ心配してくれる人もたくさんいる。

あの日から一年以上過ぎた。私は今までと同じように日常生活を送っている。何かきっかけがなければ、あの災害のことを忘れてしまいがちである。そんなある日、只見中学校で教育講演会が行われた。講演をしてくださった先生の言葉の中にとっても印象に残っている言葉がある。それは「当たり前のことや当たり前前と思わない」という言葉だ。今、私の中では、普通に電気、水を使えることが当たり前、屋外の活動ができることが当たり前前だった。しかし、それは違うのだと感じた。周りにはいつも助けてくれる家族、友達、先生がいて、自分は一人で生きていくわけではない。当たり前前だと思っていることが、毎日当たり前前にはできないというのは、実は当たり前前ではない。いつ、今までの生活ができなくなるかわからない。だから私は、今まで以上に、一日一日を大切に、周りに支えてくれる人がいることに感謝しながら生きていきたい。



第36回 おめでとう

町民文芸コンクール入賞者

(敬称略)

【作文部門】

■小学校下学年の部

- ◎特選 三瓶 創大(朝日小1年)
- ▽入選 新國 太陽(只見小3年)
- ▽佳作 青山日菜花(只見小1年)
- 本名 真歩(朝日小1年)

■高校生の部

- ▽入選 馬場 祐多(只見高1年)

■一般の部

- ▽入選 渡部 ミヤ(小川)

■小学校上学年の部

- ◎特選 鈴木 伶菜(只見小5年)
- ▽入選 坂内 夏海(只見小5年)
- 新國かすみ(只見小6年)
- ▽佳作 目黒 杏里(只見小6年)
- 菅家 和浩(朝日小6年)
- 酒井 美来(明和小4年)

【短歌部門】

■小学校下学年の部

- ◎特選 大竹 未桜(只見小1年)
- ▽入選 鈴木 百香(只見小1年)
- 目黒 希(朝日小2年)

■小学校上学年の部

- ◎特選 新國 愛菜(只見小6年)
- ▽入選 目黒 温(只見小6年)
- 星 妃乃(朝日小4年)
- ▽佳作 鈴木 萌(只見小5年)
- 五十嵐美月(只見小5年)

■中学生の部

- ◎特選 菊地 萌花(只見中2年)
- ▽入選 飯塚 春輝(只見中1年)
- 日野 涼(只見中3年)
- ▽佳作 目黒 史也(只見中1年)
- 酒井康太郎(只見中3年)

【俳句部門】

■小学校下学年の部

- ◎特選 五十嵐陽菜(只見小1年)
- ▽入選 目黒 羚(朝日小1年)
- 酒井 真生(朝日小3年)
- ▽佳作 羽染 治輝(只見小1年)
- 五十嵐巧翔(只見小3年)
- 浅野 礼(明和小2年)

■一般の部

- ◎特選 新國由紀子(只見)
- ▽入選 小倉キミ子(長浜)
- 五十嵐ナツミ(福井)
- 渡部ユキ子(福井)
- 新國 洋子(只見)

■小学校上学年の部

- ◎特選 河原田隼斗(明和小5年)
- ▽入選 川合 未来(只見小6年)
- 布沢 陽斗(明和小5年)
- 高階 涼矢(只見小4年)
- 新國 拓(只見小5年)
- 渡部 里咲(只見小6年)

■中学生の部

- ◎特選 佐藤 有佳(只見中1年)
- ▽入選 長谷川夏美(只見中2年)
- 須佐 萌(只見中3年)

■高校生の部

- ▽佳作 新國 優(只見中3年)
- 本名 未幸(只見中3年)
- 渡部 早紀(只見中3年)

■一般の部

- ◎特選 菅家 知佳(只見高2年)
- ▽入選 柳下 一貴(只見高1年)
- 齋藤 雄(只見高3年)
- ▽佳作 五十嵐千春(只見高1年)
- 五十嵐 慧(只見高2年)
- 菅家 豪人(只見高3年)

■一般の部

- ◎特選 目黒 富子(黒谷)
- ▽入選 酒井 邦雄(福井)
- 三瓶 淑子(大倉)
- 三瓶夕カキ(黒谷)
- 船木トモ子(黒谷)
- 五十嵐邦男(只見)

【詩部門】

■小学校下学年の部

- ▽入選 酒井 恰斗(只見小1年)
- 佐藤 暖瀬(朝日小1年)
- ▽佳作 鈴木 詠大(只見小1年)

■小学校上学年の部

- ▽入選 馬場 葉月(明和小4年)
- ▽佳作 小林明日香(明和小6年)



▲三瓶創大くん(小学校下学年の部・作文部門特選)

おめでとう

平成24年度 芸術文化賞 スポーツ優秀選手賞受賞者 (敬称略)



▲受賞者の皆さん「おめでとうございます」

〔芸術文化賞受賞者〕

◎佐藤静香(朝日小1年)
 第58回青少年読書感想文

コンクール県特選

〔スポーツ優秀選手賞受賞者〕

◎渡部賢太郎(朝日小6年)
 第65回福島県総合体育大会ス
 ポーツ少年団体育大会スキー競
 技会男子大回転第3位

◎只見ガッツスポーツ少年団(パ
 レーボール)(鈴木菜美・新國
 かすみ・目黒杏里・新國愛菜・
 大竹涼華・鈴木凜・大塚琴美・
 山内優・鈴木萌・菅家夏芽・新
 国理紗・小林聖佳・鈴木美羽・
 五十嵐せな・鈴木来菜)

◎うつくしまふくしま第35回福
 島県小学生バレーボール選手権
 会津大会第1位

◎馬場那央也(只見中2年)
 第55回福島県中学校体育大会
 スキー競技大会クロスカントリ
 ー男子フリー第2位

◎渡部優花(只見中2年)
 第24回福島県中学校新人陸上
 大会会津地区予選会共通走高跳
 第1位

◎只見中学校スキー部男子(一
 条英昭・伊藤舜・馬場那央也・
 五十嵐高弥)

◎第55回福島県中学校体育大会
 スキー競技大会クロスカントリ
 ーリレー第2位

◎齋藤未来(只見高3年)
 第58回福島県高等学校体育大
 会会津地区予選会女子5千mW
 第1位

◎飯塚奈央(只見高1年)
 平成24年度福島県高等学校新
 人体育大会会津地区予選会女子
 800m第1位

◎小沼拓矢(只見高1年)
 第58回全会津秋季陸上競技大会男子
 ハンマー投げ第1位

◎柳下朝実(南会津高3年)
 第58回福島県高等学校体育大
 会会津地区大会女子バレーボー
 ル第1位

◎大竹妃菜(南会津高2年)
 第58回福島県高等学校体育大
 会会津地区大会女子バレーボー
 ル第1位

◎川合祥太郎(聖光学院高3年)
 第94回全国高等学校野球選手
 権福島大会ほか硬式野球第1位

◎大川浩史(松枝岐中学校教員)
 第51回全日本教職員選手権大
 会バドミントン男子40複第3位

各賞の表彰基準

芸術文化賞の表彰基準は、全
 県のコンクール等で最上位、東
 北地方のコンクール等で上位3
 位相当以内、全国のコンクール
 等で上位5位相当以内です。

スポーツ優秀選手賞の表彰基
 準は、全会津の大会で1位、全
 県の大会で3位以内、東北地方
 およびそれに準ずる大会で6位
 以内、全国の大会で10位以内
 です。

思い出と友との絆を宝物に新たなスタート 只見中学校卒業証書授与式

春の訪れを感じる晴天に恵まれた3月13日、只見中学校の第6回卒業証書授与式が、同校体育館で厳粛に行われました。

3年間の思い出を胸に只見中を巣立つ39名の卒業生一人一人に、吉津政一只見中学校長から卒業証書が手渡されました。

吉津校長は、「これからも学ぶ気持ちを続け、持つていく力を惜しみなく発揮し、夢に向かって突き進んでください」と式辞を述べました。また、在校生送辞で加藤正靖さんは「先輩方が築いた伝統をしっかり守っていきます。先輩方も思いや



▲卒業証書を手に見中を巣立つ卒業生

る心を忘れず、しっかりと人生を歩んでください」と述べました。

次に、卒業生答辞で島谷拓実さんが「楽しい学校生活を過ごせたのは先生方のおかげ、卒業できたのは家族のおかげです。39名の卒業生が大切な3年間を只見中で過ごせたことを誇りに思います。ありがとうございます」と述べました。

最後に、卒業生や在校生が式歌の「旅立ちの日に」などを合唱し、別れを惜しむ卒業生のなかには涙を流す生徒も見られました。卒業生の皆さん、おめでとうございます。



▲卒業証書を受け取る卒業生

春の日差しが心地いい3月22日、只見・朝日・明和の各小学校では卒業証書授与式が行われました。

只見小学校では、6年間の全課程を修了した19名の児童に、高橋吉博只見小学校長から卒業証書が手渡され、受け取った卒業生は一人一人、お父さんやお母さんの前に行き、「6年間楽し只見小学校で生活できたのは、家族みんなのおかげです。中学校でも勉強や部活動がんばります」と話し感謝の気持ち



▲別れのことばを述べる卒業生

を伝えました。

高橋校長は、「明るく元気に生活してください。常に真心で全力投球してください。感謝の心を忘れないでください。中学校で大きく成長し、夢に向かって前進することを期待します」と式辞を述べました。

最後の別れのことばでは卒業生が6年間見守り育ててくれた感謝の気持ちを伝えました。

各小学校を卒業された皆さん、おめでとうございます。

6年間の大切な思い出はみんなの宝物
町内小学校卒業証書授与式

楽しく過ごした保育所とお別れ 明和保育所 修了式

3月26日、明和保育所で「修了式」が行われ、年長組のお友だち17名が思い出とともに巣立ちました。

渡部あき子保育所長はあいさつで「皆さんは、立派な1年生になれます。小学校でもみんな仲良く、上級生に親しまれる1年生になってください」と述べました。

式では、在所児がお祝いのことばを述べ、お祝いの歌を歌い、年長の修了児はお別れのことばを述べ、お別れの歌を歌って、先生やお友だちとの別れを惜しみました。

また、式のあと修了児全員で手作りの紙芝居を発表したり、手話をしながら「上を向いて歩こう」を

上手に歌い、最後に「1年生になっても元気いっぱいがんばります」と力強くメッセージを述べました。この日は、只見と朝日の保育所でも行われました。



▲手話をまじえた歌を披露する修了児

英語の能力アップを支援 英語力向上プラン事業

町では、只見中学校で英語を学ぶ生徒の能力向上を目指し、財団法人日本英語検定協会が行う英語検定を受験する生徒に対し、検定料を支援する「英語力向上プラン事業」を行なっています。

対象は、第2学年の生徒で3学期に行われる検定に受験する場合に1回、検定料を全額支援します。この事業を行うことにより、中学校で学ぶ英語の学力向上が図られ、生徒一人一人の目標を達成するための学習意欲の高揚にも効果があると考えられます。本事業は今後も継続して行われます。



▲合格証を手にする生徒

全国編み組工芸作品展 飯塚喜一さんが入賞

奥会津三島編組品振興協議会が主催する「第12回全国編み組工芸作品展」が3月16から17日の二日間、三島町交流センター山びこで開かれました。

同工芸作品展には全国から100人が手作りの編み組工芸品662点を出品、審査の結果、飯塚喜一さん(坂田)の「こしざる」が福島中央テレビ賞に輝きました。

飯塚さんは「数多くの作品の中から選ばれてうれしい。なかなか納得のいくものは作れないが、これからも技術を磨いていきたい」と笑みを浮かべ話しました。おめでとうございます。



▲表彰状を手にする飯塚さん

文部科学大臣から表彰 只見中学校

文部科学省が行うキャリア教育優良学校等表彰事業で、只見中学校(吉津政一校長)が、文部科学大臣から表彰されました。福島県内では唯一の表彰です。

只見中学校では、望ましい職業観と人間関係形成能力の育成を目的に教育課程にキャリア教育を取り入れ、充実に向け様々な事業に取り組んでいます。その一環として2年生を対象に会津若松市内などで職場体験を行い、生徒に貴重な体験をさせ目的意識を高めさせるなど、効果的な教育活動を展開しています。

このように教職員が一丸となり取り組んでいる事業の実施が評価され、表彰されたものです。



▲表彰状を手にする中田教諭と吉津校長(左)と目黒町長

が只見町の予算です

◆豪雨災害からの復興に向けて 重点的・効果的な事業展開を

只見町の平成二十五年度予算が決定しました。
町税収入・地方交付税等の推移や国・県からの補助金等の配分状況を踏まえ、「豪雨災害からの復興・復興」を最優先に位置づけるとともに、「第六次只見町振興計画」に基づき、まちづくり五つの目標の実現に向け、財源の重点的かつ効果的な配分を行い、本町の町勢進展につながる事業展開を推進します。

一般会計の予算規模は六十二億六、六〇〇万円となり、前年度対比四億二、一〇〇万円の増、伸率七・二％となっています。また、十二の特別会計の合計額は二十七億四、五一〇万円となっており、一般会計と合わせた平成二十五年度予算総額は九十億一、二一〇万円です。

◆一般会計 歳入

予算の内容を見てみましょう。

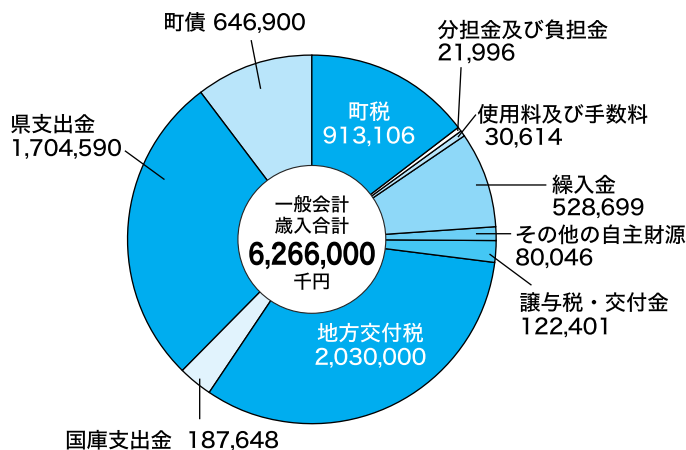
歳入のトップは、「依存財源」（国や県から入るお金）に含まれる地方交付税です。前年度同額を見込んでおり、歳入全体の三二・四％を占めています。
また、「自主財源」（町が独自に確保できるお金）では、町税が歳入全体の一四・六％、前年度に比べて四、六〇〇万円の増額となっていますが、依然、厳しい予算編成を余儀なくされています。

◆一般会計 歳出

歳出は、総務費の占める割合が最も高く十九・八％となっています。これは、昨年度から登録に向けて取組んでおりますユネスコエコパーク関連事業及び、庁舎建設に係る事業によるものです。
次に、民生費に占める割合が十六・四％となっています。これは、長浜地区に整備予定の小規模介護施設整備事業の増によるものです。

また、災害復旧費の占める割合が十五・八％となっています。これは、平成二十三年七月発生の豪雨災害の災害復旧事業の実施によるものです。
続いて、農林水産業費、衛生費、土木費、教育費、公債費、商工費、消防費の順になっています。農林水産業費の増は放射性物質対策事業の増によるもの、衛生費の増は南会津地方環境衛生組合負担金の増によるもの、土木費の増は除雪機械更新事業の増によるもの、教育費の増は、只見高校振興対策事業の増によるものです。また、公債費は減となっておりますが、繰上償還完了によるものが主な要因となっています。

6,600万円



■歳入

(単位：千円)

項目	25年度	構成比	24年度	増減率
町税	913,106	14.6%	867,097	5.3%
地方譲与税	69,000	1.1%	69,000	0.0%
利子割交付金	700	0.0%	700	0.0%
配当割交付金	200	0.0%	200	0.0%
株式等譲渡所得割交付金	1	0.0%	1	0.0%
地方消費税交付金	40,000	0.6%	40,000	0.0%
自動車取得税交付金	11,000	0.2%	11,000	0.0%
地方特例交付金	500	0.0%	500	0.0%
地方交付税	2,030,000	32.4%	2,030,000	0.0%
交通安全対策特別交付金	1,000	0.0%	1,000	0.0%
分担金及び負担金	21,996	0.4%	17,817	23.5%
使用料及び手数料	30,614	0.5%	29,948	2.2%
国庫支出金	187,648	3.0%	621,646	-69.8%
県支出金	1,704,590	27.3%	1,168,872	45.8%
財産収入	21,656	0.3%	21,535	0.6%
寄付金	3,002	0.0%	3,999	66.7%
繰入金	528,699	8.4%	378,716	39.6%
繰越金	1	0.0%	1	0.0%
諸収入	55,387	0.9%	63,864	-13.3%
町債	646,900	10.3%	523,100	23.7%
歳入合計	6,266,000	100.0%	5,845,000	7.2%

■歳出

(単位：千円)

項目	25年度	構成比	24年度	増減率
議会費	80,537	1.3%	72,549	11.0%
総務費	1,248,320	19.8%	649,813	92.1%
民生費	1,030,884	16.4%	641,683	60.7%
衛生費	517,672	8.3%	483,740	7.0%
労働費	13	0.0%	13	0.0%
農林水産業費	538,099	8.6%	480,641	12.0%
商工費	336,360	5.4%	325,124	3.5%
土木費	423,790	6.8%	329,430	28.6%
消防費	257,684	4.1%	202,720	27.1%
教育費	419,231	6.7%	343,512	22.0%
災害復旧費	989,195	15.8%	1,819,740	-45.6%
公債費	382,176	6.1%	450,321	-15.1%
予備費	42,039	0.7%	45,714	-8.0%
歳出合計	6,266,000	100.0%	5,845,000	7.2%

■町税の内訳

町民税	1億4,630万6千円
固定資産税	7億2,119万1千円
軽自動車税	1,025万4千円
町たばこ税	3,139万5千円
入湯税	396万円

町民一人あたりにすると(3月1日現在人口)……………4,882人

■一般会計支出額(使われるお金の額)……………1,283,490円

■町税負担額(納めていただくお金の額)……………187,035円

平成25年度の主な事業

■住民と行政が協働するまちづくり

- 集落・地区センターなど住民交流を主体とした地域づくり
 - 609万円 町づくり事業補助金（3地区センター）
 - 4,815万円 八木沢集会所建設事業
 - 3,667万円 叶津集会所建設事業
- 総合的な土地利用・交通体系の確立
 - 1,918万円 新多目的交通システム運営補助金
 - 1,500万円 国土利用計画策定事業
 - 500万円 J R只見線再開通事業

■自然に感謝するまちづくり

- 自然保護意識の醸成
 - 2,435万円 ユネスコエコパーク推進事業
 - 132万円 住宅用太陽光発電システム設置事業
 - 1,100万円 小水力発電推進事業
- 雪と共存するまちづくり
 - 1億762万円 町道・歩道除排雪経費
 - 1,550万円 高齢者等除雪支援事業
 - 2,000万円 大雪対策事業補助金
 - 3,968万円 除雪機械更新事業
- 水環境の保全と下水道の整備
 - 698万円 浄化槽設置整備事業補助金（8基）
 - 1億3,203万円 只見統合簡易水道整備事業
- 環境衛生の充実
 - 1億8,776万円 南会津地方環境衛生組合負担金
- 自然と調和した地域イメージに合った景観づくり
 - 1,513万円 定住促進団地整備事業
- 道路網の整備
 - 6,239万円 町道改良、町道補修事業
 - 5,366万円 公共土木施設過年災害復旧事業

■保健・医療・福祉が一体となった元気なまちづくり

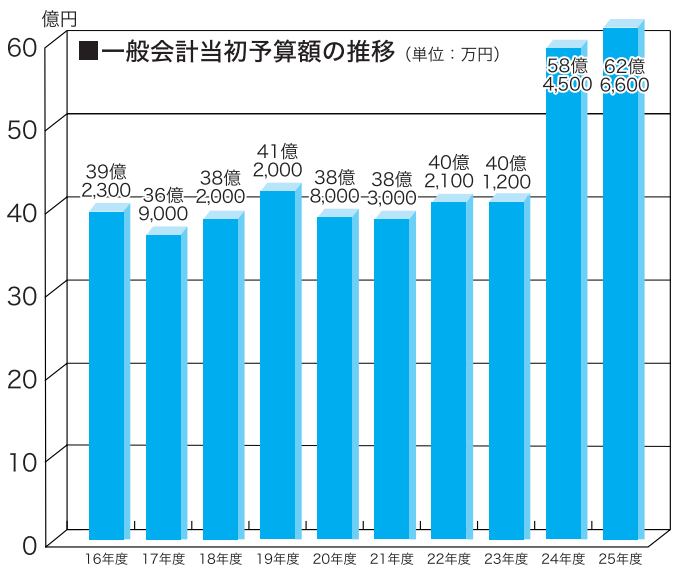
- 健康でいきいきと暮らせるまちづくり
 - 1,861万円 放射性物質対策事業
- 安心して子どもを生育てられるまちづくり
 - 5,580万円 児童手当支給事業
 - 1,360万円 18歳以下医療費無料化事業
- 高齢者・障がい者福祉の充実と元気づくりの推進
 - 276万円 福祉商品券給付事業
 - 3億4,700万円 小規模介護施設整備事業（特別養護老人ホーム）
- 安心できる暮らしづくり
 - 1,890万円 防災行政無線更新事業
 - 1,641万円 地域防災計画更新事業
 - 1,995万円 消防ポンプ車整備事業

■新たな産業と循環型社会を構築するまちづくり

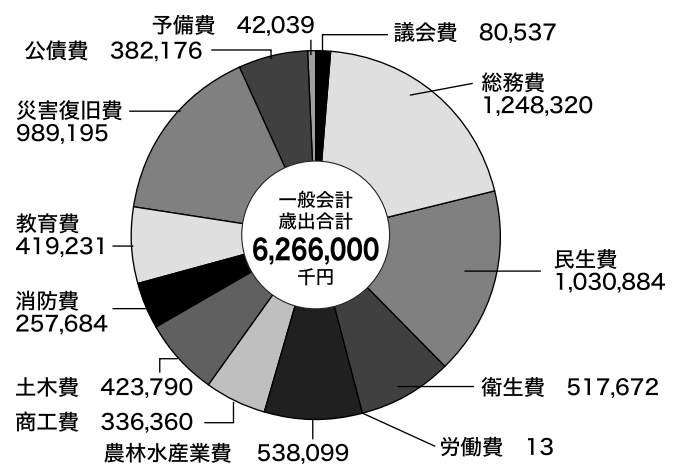
- 誇りが持てる農業の振興
 - 2,085万円 中山間地等直接支払事業補助金
 - 1億2,049万円 農地・農業用施設過年災害復旧事業
 - 1,326万円 農工商風評被害対策事業
- 豊かな森林を活かした林業の振興
 - 1,225万円 流域育成林整備事業
 - 7億7,901万円 林地施設過年災害復旧事業
- 活力ある商工業の振興
 - 350万円 プレミアム商品券発行事業
- 特色を活かした魅力ある観光の振興
 - 1,300万円 保養センター備品整備事業
 - 1,677万円 只見スキー場改修事業
- 産業間連携と産業おこしの推進
 - 300万円 産業振興対策事業補助金
 - 900万円 6次化産業企業家応援事業

■教育、文化を大切にするまちづくり

- 広い視野を持ち地域を理解する人づくり
 - 262万円 地域人材育成事業
- 地域文化の振興（人の技・物・食の伝承）
 - 500万円 民具収蔵展示施設整備基本構想策定事業
- 次世代を担う子どもたちの教育の充実
 - 678万円 小・中学校学力向上事業
 - 1,776万円 只見高校振興対策補助金
 - 823万円 地域おこし協力隊推進事業
 - 733万円 スクールバス更新事業
- 生涯スポーツ・レクリエーションの充実
 - 774万円 子育てひろば事業
 - 300万円（仮称）地域包括型スポーツパーク構想策定事業



一般会計 予算総額 62億



■特別会計予算 (単位：千円)

会計区分	25年度	24年度	増減率
国民健康保険事業特別会計	553,000	570,000	-3.0%
国民健康保険施設特別会計	450,000	460,000	-2.2%
後期高齢者医療特別会計	125,000	126,000	-0.8%
介護保険事業特別会計	597,000	574,000	4.0%
介護老人保健施設特別会計	243,000	243,000	0.0%
訪問看護ステーション特別会計	23,000	21,000	9.5%
地域包括支援センター特別会計	12,000	10,000	20.0%
簡易水道特別会計	297,000	149,000	99.3%
観光施設事業特別会計	66,000	35,000	88.6%
交流施設特別会計	43,000	92,000	-53.3%
集落排水事業特別会計	322,000	329,000	-2.1%
朝日財産区特別会計	14,100	10,400	35.6%
合計	2,745,100	2,619,400	4.8%

雪まつり フォトコンテスト 入賞者が決定!! ～おめでとうございます!～

只見
町長賞



「吹雪のなかで」

山崎 篤只さん(福島市)

ディーエヌアイ
工業株
社長賞



「燃えろかがり火」

柏館 健さん(いわき市)

審査員
特別賞



「福をもとめて!」

折笠 一さん(いわき市)

優秀賞



「花に願いをこめて」

橘 和弘さん(南会津町)

優秀賞



「元気印の雪滑り」

長渡 成一さん(いわき市)

《入選》

- 佐海 忠夫さん (栃木県真岡市)
- 柏館 光子さん (いわき市)
- 高橋 順一さん (いわき市)
- 小澤 貴喜さん (郡山市)
- 大塚 芳彦さん (栃木県芳賀町)

たくさんのご応募
ありがとうございました!

応募総数

71点(22名)

第41回 只見ふるさとの雪まつり

ミニ雪像
コンテストの
結果は…

只見町商工会 最優秀賞!おめでとうございます!



「八重たん」
只見町商工会様



「水車小屋・自然エネルギーを大切に」
目黒正さん(宮淵)

グッドデザイン賞



「巳と亀の開運招福」
石伏区雪像をつくる会様

優秀賞



「あかべこ・白虎隊なめこ」
只見保育所様

グッドキャラクター賞



「八重たん」
朝日保育所様

グッドデザインミックス賞



「浅草岳と館ノ川大仏」
館ノ川集落活性化委員会様

グッドアイデア賞



Anna先生のLife in JAPAN Vol.27

■Anna・George
1987年生まれ。英国ノーフォーク出身。
2010年8月から只見町英語指導助手。
小学校と中学校で語学の指導を行います。

長かった冬もようやく終わりを迎えそうです。冬の美しい景色を楽しみましたが、だんだん暖かくなるのが本当にうれいす。今年はずっと早く桜が咲いてくれたらいいですね。3月には卒業した3年生にさようならを言いました。その彼らが1年生の時私は初めて日本に来ました。だからいつも彼らのことを思い出します。そのみんなが最高の高校生活を送ってくれることを祈っています。一生懸命勉強して、充実した高校生活を送ってください。

私は現在、日本で迎える最終学期のことを考えています。最



後まで精一杯勤務したいと思ます。その中で小学校に入学してくる新1年生との英語の授業を楽しみたいと思います。

今回の小学生と一緒に英語の時間に学習した「桃太郎」もとても楽しかったです。生徒たちにとって良い時間になったことと思います。

そして今、私は今年のゴールデンウィークの計画を立てています。前回までの2年間は私の友人や家族が日本を訪れましたが、今年は私がまだ見ぬ福島や東北の地を訪れようかと思っています。日本を離れる前におきたい場所がまだまだあります。(訳・只見中・平野)

広報ただみ診療所

朝日診療所

医師 若山 隆

『診療所での糖尿病の検査について』

みなさん、こんにちは。只事・運動療法と内服薬によつて、血糖値が高くなつていないかどうかを調べています。採血の結果をみて、食事・運動のアドバイスや内服薬の調整を行つていきます。血糖値は数日でも大きく変化してしまふ場合があります。毎受診ごとに慎重に変化を調べる必要があります。尿検査の主な目的は、尿たんぱくがでているかどうかを調べています。糖尿病の合併症の一つに腎臓の機能低下があります。糖尿病により腎臓の機能低下が進むと、尿にたんぱく質がふえてくるのです。尿にたんぱく質が増えてくる事が分れば、血糖値をより厳しく低めに調節し、腎臓の機能を守るために血圧もより厳しく低めにしなければなりません。しかし、尿検査は血糖値のように急激には変化しないため、厚生労働省の研究班によると年に数回測定すればよいとされています。今後は、診療所でも、糖尿病の人に行う尿検査を年に数回にする予定ですので、ご理解とご協力の程、どうかよろしくお願いいたします。

町史

とっておきの話

225

福島県食文化研究者

平出 美穂子

只見の伝統食と文化 ①

今月号から6回の連載を担当されるのは、平出美穂子先生です。福島県の郷土料理や伝統文化の研究家として、テレビ・新聞・雑誌などで活躍されています。著作も多く、只見町にも講演でたびたび来町されます。郡山女子大学を退任されてからは、一層多忙となりましたが、今回、只見町のために只見の食文化について執筆していただきます。



只見のスシは、フナズシと同じく起源が古い

只見のスシは 日本伝統食の至宝

岩はしる 垂水の水の 早蕨
の萌えいづる 春になりにつ
るかも

只見町の春は、万葉の時代に詠まれたこの歌がびつたりあてはまります。春の息吹を浴びながら、人々は山菜採りに一斉に山へ入ります。初夏にはハヤ捕り、秋になればキノコ採りに出かけ、抱えきれないほど大きなマイタケを見つけたりします。只見町民だからこそ味わうことができ、尊い恵みです。それは特別なものではなく自然な行爲です。なんとこの贅沢でしょう。自然の営みとともに生き、そこで育まれた食材を食べてきたからこそ、県下でも長寿の町になったのかもしれない。

こうした自然環境のもと脈々と引き継がれてきた只見町の伝統食のなかでもっとも誇るべきものは、何と言ってもハヤのス

シ（飯鮮）です。初夏、産卵をひかえた赤い腹のハヤ（アカハラ）をご飯と山椒で漬けてこんで発酵・熟成させ、正月のご馳走としました。全国各地にアユなどの川魚を使ったスシやニシンなどの海魚を使ったスシがたくさんあります。しかし、ほとんどは塩漬けしておいた魚に新たに酢とご飯を混ぜ合わせる方法で作ったものです。只見町のスシは、琵琶湖のフナズシと同じく、最初からご飯と混ぜあわせてそのまま発酵させたものです。これは今から1500年前、中国最古と言われる料理書『齊民要術』さいみんようじゆつに記されている作り方と同じです。日本では室町時代にこの作り方の記録が残っています。

では、只見町のスシはいつごろから作られていたのでしょうか。それは只見町で究極のおいしさを誇るハヤのはらわたで作られたナツチモノから想定できます。ナツチモノはいわゆる塩辛しおからですが、塩辛は室町時代以降になつてか

らできたものです。室町時代はナンシモノと言われていましたから、只見で言うナツチモノとはナンシモノが訛なまつたものでしょう。つまり、只見町では、ナツチモノもハヤズシもすでに室町時代には作られていたと思われるのです。まさに、只見町のスシは、日本を代表する尊い伝統食の至宝と言えるでしょう。先人が残してくれた只見町でしか作ることのできないスシという食文化を絶やすことなく、母から娘へと引き継いで行つてほしいものです。



室町時代から食べられているナツチモノ



町民文芸

只見短歌会

二月詠草

大塚栄一

指導

放射能の嘆きをまとめし新聞の家族の記事に涙誘はる

関谷登美子

音のする杉に触ればびしびしと手に伝はりて雪折れ近きか

小倉キミ子

間をおかず坐骨神経痛みきて耐ふる顔つき変りをらむか

古川 英子

雪祭りに成人迎へし孫達を祝ふ花火の打上げ見あぐ

渡部ゆき子

手遅れの病に長男亡くしたる友に声なく肩さすりやる

五十嵐夏美

神棚に供へし松を焚く煙身に当てたきと両手であふぐ

目黒 富子

齢よりは少し派手目に装ひて心病む孫の通院に添ふ

馬場 八智

雪解けの庭の木槿むくげの枝に来て瘦せし一羽の雀とまりぬ

渡部ヨリ子

夫とわが介護に疲れ椅子に掛けうつぶせに眠る娘起こさず

新国 洋子

(出 詠 順)

只見俳句会

三月例会

目黒十一

指導

耳に湧く子らの歓声団子挿す
降り続く屋根の雪嵩春遠し

信

寝静まる山里を行く除雪音
川底を重機掘り行く春の風

リウコ

薬岳啼く吹雪の夜や独り酒
春吹雪山吹きおろし吹きあげて

藤 彦

独房めく公衆トイレや黄水仙
カーテンの裾へ不眠の春の蠅

笑 羊

雛壇を飽きたと五人雛子言い
お隣の子犬尾を振る春隣

一 灯

くつきりと陽のかたむきに雪の峰
春の雪一夜にもる深さかな

康 女

奥会津無声映画のように雪
雪の壁わが家へ向かうのぼり坂

恒 夫

美男子は雪の鎌倉大佛様
吊るされて凍大根のフラダンス

都

初午や伏見稻荷を遠くより
立春の朝や雪降る野も山も

邦 男

災害へ重機行き交う春の雪
神楽獅子頭かみつく雪まつり

一 穂

春雪や束ね薬草朝風呂に
戸を開けて眼鏡のくもる凍てる朝

又壺歩

おのが影落とし林の木の根明く
雪中菜取り出し抱けば息をして

洋 子

春寒を苦にせず生きて山に老い
晩年は楽しく行こう風光る

邦 夫

雪焼けの笑顔コップに酒満たす
豆腐とは思ひぬ珍味春炬燵

礼

花便り未だ地を見ずと返す文
雪の壁吹きさらしけり春疾風

吉 児

お気軽に、ご相談ください

行政相談委員に菅家三保子さん



総務省では、只見町を担当する行政相談委員として、4月1日付けで、次の方を委嘱いたしました。

この苦情や意見・要望を受け付け、皆さんと関係行政機関等との間に立って、その解決を促進するよう相談に応じています。

国の役所の仕事について「事務処理が遅い」、「昼休みに窓口を閉めている」など行政サービスに対するご意見・ご要望等あれば、ぜひ、ご相談ください。

相談は無料で秘密は守られます。行政相談委員は、いつでも自宅で相談に応じていますので、お気軽に、ご相談ください。

●行政相談委員

菅家 三保子さん

●只見字雨堤1054番地の2

●電話 82-2192

行政相談委員は、総務大臣が委嘱するもので、国の仕事をはじめ、N T Tなどの特殊法人等の仕事につい

今月のお知らせ

Information

電話番号

総務企画課	
総務班	☎82-5050
	☎82-5210
企画班	☎82-5220
町民生活課	
税務班	☎82-5110
町民班	☎82-5100
保健福祉課	
保健班	☎84-7005
福祉班	☎84-7010
産業振興課	
農林班	☎82-5230
交流推進班	☎82-5240
環境整備課	
地域整備班	☎82-5270
生活環境班	☎82-5280
会計室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
訪問看護ステーション	
	☎84-2130
こぶし苑	☎84-2101
保健福祉センター	☎84-7005
只見地区センター	☎82-2141
朝日地区センター	☎84-2111
明和地区センター	☎86-2111

地区センターでおまつり・展示会

明和公民館まつり

(3月9日～10日)
明和地区センター



朝日のいいもの集めちゃった市

(3月10日)
朝日地区センター



「只見に学ぼう!!」作品展示会

(3月17日)
只見地区センター



税 今月の納期

4月25日までに
納めましょう

- 固定資産税(1期)
- 農集排使用料(4月分)

町職員の新規採用・退職

○新規採用町職員（4月1日付）

- ▷教育委員会 生涯学習班 目 黒 栄 男
- ▷保健福祉課 保健班 星 友 美
- ▷総務企画課 企画班 中 野 陽 介
- ▷朝日診療所 看護師 本 名 晴 美
- ▷産業振興課 農林企画室 二階堂 一 広
(福島県派遣)
- ▷産業振興課 農林班 渡 辺 浩
(福島県派遣)

○退職町職員（3月31日付）

- ▷久 保 克 昌 (副町長)
- ▷伊 藤 裕 幸 (産業振興課)
- ▷飯 塚 利 弘 (産業振興課)
- ▷朝 廣 貞 子 (朝日診療所)
- ▷若 山 由香里 (朝日診療所)

固定資産税に関する帳簿の縦覧

平成25年度固定資産税に係る土地及び家屋価格等帳簿の縦覧を次により行います。縦覧を希望される方はおいでください。

●期 間 (土、日を除く)
4月1日(月)～4月25日(木)

●時 間

午前8時30分～午後5時15分

●場 所

▽町民生活課税務班

☎ 8215110

▽朝日地区センター

☎ 8412111

▽明和地区センター

☎ 8612111

※縦覧の対象者は、只見町内の土地又は家屋に対して課する固定資産税の納税義務者またはその代理人のみとなりますが、代理人が縦覧される場合は、納税義務者本人の委任状が必要となります。詳しくは、お問い合わせください。

▽問い合わせ

町民生活課税務班

☎ 024118215110

就学する学校の変更要件について

就学する小・中学校は、「只見町公立学校の通学区域に関する規則」によって指定されていますが、保護者からの申請によって通学区域外の学校に就学することが可能となっています。変更の具体的な要件について下記のとおりお知らせいたします。

■指定要件の変更

区 分	理 由
住所移転による理由	<ul style="list-style-type: none"> ・学年途中の転居等により指定校が変更になるため、学期末まで現在の学校に通学したい場合 ・家の新築など転居が明らかであるためあらかじめ転居先の学校に通学したい場合
身体的な理由	<ul style="list-style-type: none"> ・肢体不自由や病弱等の理由により通学に配慮が必要な場合
教育的な配慮の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめや学校生活の不応など、やむを得ない事情により指定された学校を変更したい場合
その他の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・その他教育委員会がやむを得ないと認めた場合

■手続き

指定した様式により只見町教育委員会に申請します。なお、教育委員会（電話82-5320）までお問い合わせください。

町 長 室 日 誌

〈 3 月 分 〉

- 1日 只見町高等学校卒業式
- 3日 環境衛生組合採用候補者試験
- 4日 議案検討庁議
- 5日 林野庁長官表敬訪問
- 6日 雪まつり実行委員会、雪まつりミニ雪像コンテスト、会津ただみ振興公社取締役会
- 7日 一般質問検討庁議
- 9日 明和公民館まつり
- 11日 「3.11ふくしま復興の誓い2013in南会津」
- 12日 只見町議会3月会議開会(～22日)
- 13日 只見中学校卒業式
- 14日 雪まつりミニ雪像コンテスト表彰式
- 16日 奥会津麵'sフェスティバル・只見線復興決起集会、家庭医療学専門コース修了祝賀会
- 17日 歳時記の郷・奥会津シンポジウム
- 22日 町内小学校卒業式
- 23日 会津価値創造フォーラム・会津価値発見シンポジウム、森まさこ国政報告会並びに大臣就任を祝う会
- 25日 臨時庁議
- 27日 只見町土地改良区理事会、只見町議会3月第2回会議、南会津会評議員会・理事会
- 28日 臨時庁議
- 29日 南会津地方広域消防本部退職職員辞令交付式、町退職職員辞令交付・離任式、JA会津みなみ畜産部会通常総会

町民の消息

(3月1日～3月31日届出分) 敬称略

■ご結婚おめでとうございます

黒谷 鈴木 直♡只見 酒井 裕美
長浜 若山 隆♡長浜 赤塚由香里

■おくやみ申し上げます

五十嵐 章 二	72歳	福井
五十嵐 和 義	79歳	塩ノ岐
渡 部 美 苗	92歳	長浜
目 黒 正	91歳	熊倉
吉 津 ハナ子	75歳	黒谷

人のうごき

平成25年3月1日現在

人 口	4, 748	(-12)
男	2, 296	(-4)
女	2, 452	(-8)
世帯数	1, 824	(-6)
高齢化率	41.3%	

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 2 転出 7 出生 2 死亡 9

▽「広報ただみ」の編集作業を行うのは今月号が最後となりました。4年間、発行させていただきましました。伝わりやすい広報を心掛け、努めてまいりましたが、皆様のご期待にお応えできるものとはいきませんでした。▽4年間、皆様には本当にお世話になりました。感謝申し上げます。ありがとうございました。これからも「広報ただみ」をよろしく願います。

あとがき

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう



まちづくり推進員
酒井 茂夫

朝日地区センター
図書室 ☎84-2059

おすすめ新着図書

★少女は卒業しない

朝井リョウ 朝井リョウ/著 (集英社)



著者の朝井リョウさんは、大学在学中に書いた小説で、多くの新人賞を受賞し、昨年発表した「何者」で、最年少直木賞を受賞しました。

この作品は、統合が決まり、取り壊しが決まった校舎での最後の卒業式当日の物語ですが、少女たちのこれまでの日常の終わり、社会に出る希望や不安を描いた短編小説です。他人を想う気持ちが痛いくらいに伝わってきます。読みやすい文章で書かれている短編集なので、一度手にとってご覧ください。

★脳はバカ、腸はかしこい



藤田紘一郎/著
(メディアファクトリー)

自分の満足を求める「脳」は、甘いもの、塩辛いもの、煙草、アルコールなど身体に悪いとわかっているにもかかわらず。そのたび「腸」は悲鳴をあげるのです。

「腸内環境を整えることでドーパミンやセロトニンなどが脳に運ばれ、良好な精神状態が作られる」と著者の研究成果を盛り込んだ、「脳」と「腸」の関係性について、わかりやすく書かれた本です。

★ねこかん



ヨコヤマヒロコ/さく・え
(チャイルド本社)

只見町出身のフリーイラストレーター、ヨコヤマヒロコさんの初めての絵本です。おかあさんがスーパーでもらってきた「ねこかん」。みーちゃんほどこどき。どんなねこが入ってる？手にとると「ねこかん」が動いたように感じた。真夜中にみーちゃんはふとんの中で「ねこかん」をそっと開けます。缶から出て来たのは・・・？

★図書室の本はみんなの本です。返却が遅れている本がないか、書棚の確認をお願いします。新しい図書や有用な書籍を購入しておりますので、ぜひご利用ください。

キタコブシ

(学名: *Magnolia kobus* var. *borealis*)
[モクレン科 モクレン属]

只見町では、コブシと言うとキタコブシとタムシバの両方をさします。共にモクレン科のモクレン属に属しますが、里にコブシ、山にタムシバと言われるように、生育場所が異なります。キタコブシはコブシの変種で花や葉がコブシよりやや大きく、日本海側を中心に広く分布しています。また、キタコブシは、只見町の「町の花」にも指定されています。黒谷川の河岸段丘上に立つ町の天然記念物の大コブシは、幹周り2メートル30センチの巨木で、春先にかけて枝先に直径6～10センチ、6枚の花弁を持つ純白色の花を沢山咲かせます。只見の里に春を告げる木の花の一つです。



企画展示

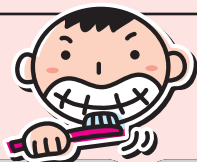
- 「只見町の巨樹・巨木」展
只見町の巨樹や巨木をパネル展示で紹介いたします。
期 間：4月15日(月)まで
- 「あがりこの生態と人々の関わり」
期 間：4月27日(土)～7月22日(月)まで

詳しくは、
只見町ブナセンター
までお問い合わせ
ください

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています



虫歯のない子 (3月12日) (3歳児健診)



さかい ゆたか
酒井 優くん(小林)



やまうち じょうだい
山内 丈大くん(梁取)



さいとう ねね
齋藤 寧々さん(亀岡)



ふなき そうま
舟木 爽真くん(布沢)



めぐろ じゅんのすけ
目黒 純乃介くん(塩ノ岐)